

語学講座 報告

◆第9回 同時通訳養成講座

8月1日(土)～7日(金)までの7日間、本学のメディア教室にて、同時通訳養成講座が開催され、本学学生を含む22人が受講しました。

第一線で活躍されている通訳者を講師としてお迎えし、同時通訳モードL教室と同時通訳ブース付き演習室を使って、通訳現場に入る前の資料の読み方からリサーチの方法、プロならではの洗練された表現法等の本格的な訓練が行われました。

受講生からは、「本物さながらの同時通訳ブースで通訳をする貴重な経験ができました」「達成感を得られる授業の進め方だったので、大変でしたが続けることができました」「(な)やかな雰囲気の中で全員がレベルアップするプログラムはとても素晴らしいと思います」のような感想が聞かれました。



◆2009年度 外国語集中講座

8月3日(月)～8日(土)の6日間、本学の外国人講師による外国語集中講座が開催されました。本学学生を含む延べ88人が受講しました。

受講生からは、「日常生活で使う表現を多く学べ、有意義だった」「楽しみながら会話ができてよかった」「独学では学べない発音も勉強できた」「全部は理解できなかったが、内容が深くとてもよかった」のような感想が聞かれました。



- 英会話初級 「アメリカ文化」 Brien DATZMAN
- 英会話中級 「英会話中級」 Sebastian FULLER
- 「英語でやるべー」 Mark TIEDEMANN
- ドイツ語中級 「Sagen, was Sache ist!」Claudia MARRA
- フランス語中級 「フランスの poésie et chanson を作りましょう」 Cyril RICHOUX
- スペイン語初級 「旅行のためのスペイン語」Vicente HAYA
- 中国語中級 「旅に役立つ中国語」 池 玉杰
- 韓国語中級 「言葉と食文化」 梁 正善



英語ボキャブラリーコンテスト 高校生のみなさんの出場をお待ちしています

【日時】2009年11月28日(土)

【場所】長崎外国語大学 ホール

【対象】高等学校在籍生で、英語を母語としない者(学年は問いません) 英語圏の海外生活経験が6ヶ月未満の者

【参加費】無料

【内容】英単語の定義文を聞き、その単語の綴りをパソコンに入力し、正答率の高さを競う

【語彙レベル】英検準2級以上

【提示語彙数】1試合につき最大7問(同点の場合は延長戦あり)

【正答確認方法】パソコンに入力した綴りを大型スクリーンに投影

【語彙提示者】長崎外国語大学の英語母語話者

【チーム】3名(高校単位で1チームまで)

【対戦方法】トーナメント形式

【申込方法】インターネット、E-mail、FAXにて申込みを受け付けます。

【申込期間】2009年10月1日(木)～10月30日(金)

※16チームになり次第締め切ります

【問い合わせ先】長崎外国語大学 文化センター「英語ボキャコン」係

TEL 095-1840-2006

FAX 095-1840-2206

E-mail: bunka@cc.nagasaki-gaigo.ac.jp

【前回の優勝校】熊本県立天津高等学校

【前回の出場校】長崎県立猶興高等学校、熊本県立天津高等学校、中村学園三陽高等学校、長崎県立長崎南高等学校、創成館高等学校、活水高等学校、長崎県立長崎西高等学校、長崎女子高等学校、長崎県立西陵高等学校、長崎県立諫早高等学校、長崎日本大学高等学校、青雲高等学校、長崎市立長崎商業高等学校、長崎県立長崎北高等学校 (順不同)

第2回 長崎外国語大学 英語ボキャブラリーコンテスト 出場者募集!



2009年度長崎外大保護者会総会 報告

去る5月30日(土)、本学ホールにおいて2009年度長崎外大保護者会定期総会を開催しました。長崎外大保護者会も今年で3年目を迎えます。

定期総会にあたり、今年はずいぶんフレキシブルな長崎所長の二宮美子氏をお迎えし、就職支援講演会「親子で考える就職活動」と題してお話をいただきました。ご参加いただいた保護者の方は、今まさに就職活動真っ最中という方、これから就職活動を迎えるという方など立場は様々でしたが、熱心にメモをとりながら、また聞きながら話を聞いていらつしやる姿に、お子さまの就職活動に対する保護者の皆さまの関心の高さが表れていました。

定期総会では、2008年度の事業報告ならびに決算報告があり、新旧役員の交代が行われました。2008年度は、皆様からご協力いただきました保護者会費によって延べ777名の学生がさまざまな支援をいただきました。ここにあらためて感謝申し上げますとともに、今後も皆さまのご理解とご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(報告・文責) 事務局長 土井信義

2009年度地区別保護者懇談会のお知らせ

2009年度の地区別保護者懇談会を長崎、福岡、鹿児島島の3会場において開催します。詳細は、在学生の保護者の皆さまへ別途お知らせいたします。

【長崎会場】12月6日(日) 12時半(受付) 会場:本学

【福岡会場】11月7日(土) 12時半(受付) 会場:ホテルクリオコート博多

【鹿児島会場】11月7日(土) 12時半(受付) 会場:ブルーウエーブイン鹿児島

各会場にて個別相談会(希望者のみ)を開催します。

2009年度(3月以降)寄付者名簿

学校法人長崎学院が行なう教育事業充実のための寄付者名

古賀貞夫 (元教職員) 20万円

永江貞範 (元教職員) 3万円

川並 忠 (卒業生) 5万円

(敬称略)

留学報告 vol.7

短大英語学科 2年 伊藤美季

私はアメリカのサウスシアトルコミュニティカレッジで3ヶ月間交換留学生として留学しました。長年の夢であった留学の実現は私にとつて大きな意味がありました。学校では英語を学ぶ人のためのクラスで勉強していました。クラスに入った初日は、新生は私だけ、周りの人たちは留学1年、2年目という人ばかりで緊張と不安でいっぱいでした。初めのころは先生が言っていることも分からず、毎日の宿題をこなすついでいくことで必死でした。しかし、それにも次第に慣れ多くの友達もでき、週末には学校のアクティビティーなどを利用してシアトル観光を楽しむことができました。



中国語中国文化コース 3年 池本達郎

私は昨年の夏から一年間、中国北京市にある、首都師範大学へ留学しました。この大いには、中国語を学ぶ留学生だけではなく、日本語など、外国語を学ぶ中国人学生も同じキャンパスで勉強します。中国人と留学生との交流がとて盛んな学校でした。たくさんの国の人と交流をして、彼らとの交流が私を大きく成長させてくれました。彼らとの交流を通して、私はまだまだ精神的に幼いと感じました。

でもいい思い出ができました。私はこの留学で、アメリカの地に居ながら多くの国の人と関わる事ができ、日本の良さを見つめなおすことができました。そして、知らない地で生活することで、積極的に行動するための勇氣、多くの人と関わるためのコミュニケーション力がついたと思います。

「困っている人がいたら、助けてあげましょう。」これは、誰もが幼い頃から両親や先生に言われてきた言葉です。しかし以前は、困っている人を見かけても、助けるのが大変、恥ずかしいと思ってしまひ、行動できない自分がいました。留学をして、私はそれまでの自分が情けなく感じました。中国人は、困っている人を見かけると自ら声をかけ、できる限り助けようとしています。相手に助かるのであれば、自分にマイナスの影響が及ぼうとも構わないと、中国人の友人が教えてくれました。

このように、中国語力も成長できましたが、それ以上に、これから何十年も生きてゆく一人の人間として、大きく成長することができました。そんな、この留学で出会った先生方、友人たちには本当に感謝しています。

「ありがとう」



あの人は今

2008(平成20)年度
第58回卒業生(短大)

田中遥菜

こんにちは! Haruna
こと田中遥菜です。わたしは
今シンガーソングライターと
して、来年のデビューに向け
て作詞作曲、そしてライブ活
動を頑張っています。

そもそもわたしがこの仕事
を選んだのは昨年(2007)の11月に外
語祭で開催されたSONY
オーディションがきっかけで
した。この頃までは一般の企
業に入社しようと就職活動
をしていたのですが、心のど
かで「音楽がしたいん
だけどなあ」という
気持ちがあり、正直に
いうと就活にもあまり
意気ありませんでした。
た。そんな時に参加し
たオーディションで



いくことがわたしの夢です。初
心を大切に、今身近でこ
んなに温かく応援して下さ
っている方々の気持ちを忘れ
ず、そしてこのわたしの夢を
忘れないでいきたいです。こ
れからも一生懸命頑張ります
! 応援宜しくお願いします!

ランプリを獲得することができ、それを期に本格的な音楽活動を始め、音楽の仕事を選ぶことを決めました。初めは先生方に報告するのが恐かったのですが、今はこの道を選んで心がスッパリしています。今はまだ駆け出したばかりですが、外大のスタッフの方々をはじめとして、たくさんの方々に応援して頂き、テレビ、ラジオその他いろいろなイベントに出演したりして活動の場も広がり、尚一層頑張っています。

デビューまでは長崎を中心に活動します。CDやテレビで歌を聴いて頂くのも嬉しいのですが、ライブ会場に足を運んで頂きぜひ私の生の歌声を聴いて喜んで頂きたいと思っています。そしてそれが長崎に染み渡り、日本を染めて、最終的に世界中に広がって

長崎外大 ホームカミングデイ2009 開催

今年も、来る10月31日(土)に「長崎外大ホームカミングデイ2009」卒業生の集い」を開催します。

ホームカミングデイとは、卒業生の皆さまへ懐かしい学友や先生方との再会・親睦を深めていただくとともに、懐かしの学び舎へ足を運んでいただくきっかけにしたい。また、昨年、初めて開催したもので、今年で2回目を迎えます。

昨年は、初めての企画で、さらには卒業生の皆さまにも十分な案内ができなかったにもかかわらず、第1回生から3月に卒業したばかりの方々までお集まりいただき、楽しいひとときを過ごすことができました。

第2回目を迎える今年も、「在学生が卒業生を、おもてなし」を目指し、外語祭と同時に開催のほか、他の大学にはない「思い出の長崎旅行」を兼ねたホームカミングデイを企画します。卒業してから一度も長崎に行ったことがなく、友人と連絡はとりあっているもののみなでゆっくり会う機会がなくて、泉校舎の卒業生で現在の校舎に行ってみただけの機会がなくて、そんな卒業生の皆さまの声から実現した今年の企画。その思い出の旅をお手伝いしま

すのは、現在、本学で添乗員の資格(旅程管理主任者資格)や旅行業界唯一の国家資格(旅行業務取扱管理者)を取得した在学生で皆さまの後輩たちです。旅行の手配等につきましては、資格取得にあたり学生たちを指導してまいりました本学非常勤講師でもあり、本学院・旅程管理研修機関連主任講師の吉川直子氏(旅行会社 オフィスパル代表)がバックアップいたしますのでご安心ください。

<スケジュール>

- 10月31日(土)
- 13:00 受付
- 13:30~15:30 ホームカミングデイ行事
記念チャペル、学内見学、記念撮影、フリータイム(外語祭参加)
- 15:30 解散



長崎旅行にご参加の皆さまは、午前中に各地を出発、泉校舎跡地を見学の後、ホームカミングデイに参加。終了後は、次の3つのコースに分かれて長崎旅行をお楽しみください。

- * Aコース：長崎市内在プラン
大河ドラマ「龍馬伝」で沸く長崎の町でゆっくりお楽しみください
- * Bコース：雲仙温泉にてゆっくりプラン
温泉とエステや食事をゆっくりお楽しみいただき、雲仙周辺観光へ
- * Cコース：ハウステンボスプラン
ヨーロッパの街並みをお楽しみください



旅行の手配はオフィスパルで行います。旅行の詳細につきましては、下記までお尋ねください。
【問い合わせ先】オフィスパル TEL 092-324-6932



卒業生の皆さまの長崎再訪のきっかけになれば幸いです。10月31日(土)、長崎の地でお会いしましょう!

学生寮 アンペロス通信



アンペロス寮は、今年も多くの新入生を迎え新学期がスタートしました。今年も例年入りに女子高校生1名も仲間入りです。出身地は、九州圏内は勿論、遠くは三重・京都・四国・海外留学生と様々です。寮生活にも慣れた5月14日、アンペロス寮の食堂で新入生歓迎会を開催しました。寮生たちの喜ぶ顔を思い浮かべながら、数日前より寮職員で準備を進めます。今回は毎日の食事のお世話をしてくださる(株)レオック西日本の方にもご協力を賜り、たくさんのパティリー料理を用意していただきました。会場のテーブルには様々なオードブルやスイー

ツが置かれ、華やかさでいっぱいです。そして「歓迎」と書かれた特大ケーキに全員大喜び！携帯電話で写真を撮っている寮生もいました。歓迎会のために外語大の軽音楽部が出演を買って出てくれ、素晴らしいライブにみんなが盛り上がった所でジャンケン大会。外語大職員も大勢参加し、とても和気あいあいの中、気付けば会場は熱気で溢れ友達達の輪が広がり、とても有意義な歓迎会を終える事ができました。

アンペロス寮は、常に300名程の学生が寮生活を送っています。親元を離れ、違う環境の中で寮則に戸惑う事もあると思いますが、ルールとマナーをしっかり身につけ、アンペロス寮に住んで良かった！と思われる事が私たち寮母の願いでもあります。その一環として、8月からごみの5分別を徹底する事を強化しました。と言うのも、ごみの複数



分別はもはや一般常識の昨今、アンペロス寮では「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の2分別のみでした。これでは寮生の社会性が養われないので、遅ればせながらこの様な対策を取る事になりました。7月に専門業者を招いて説明会を開き、分別の基本から地球規模のエコ話まで興味深い内容に、参加した寮生はメモを取りながら真剣に耳を傾けていました。分別はまだ完璧ではありませんが、各自の意識が変わりつつある事を感じ嬉しく思います。

これからも「魅力ある寮とは」をテーマに、様々な事に取り組んで行きたいと思っています。(アンペロス寮 寮母一同)

編集後記

2009(平成21)年7月22日、皆既時間が6分を超える今世紀最大の皆既日食。日本の陸地に限ると1963(昭和38)年7月21日の北海道東部で見られた皆既日食以来、実に46年ぶり。今回は2035年9月2日の北陸・北関東などで見られる皆既日食まで26年間起こらない。鹿児島県トカラ列島の悪石島では人口の5倍を超す394人が黒い太陽を見るために訪れたというが、ここ長崎県長崎市横尾の本学においても午前10時を過ぎる頃から、学生・教職員が一人また一人と集まりだし、雲越しながらも46年ぶりの自然の珍現象に歓声がわき起こった。日本人学生はもちろん各国の留学生、教員、職員がともに空を見上げている光景は皆既日食現象そのものよりも妙に感動した。

今年は宇宙の気が強い年と言われている。7月7日の七夕、今年に限って願いごとを書かなかったことを悔やんでいる。ホームカミングデイツアーを企画した。長い人生からすると学生時代の数年間は点にすぎないが、生かされている今とは必ず線につながっている。7月7日の七夕ではないが、年に1度の外語祭に母校で集い合うのもまたおつなものである。

吉永京子

異動報告

退職

(2009年3月31日付)

古賀貞夫 理事長

相澤興一 教授(大学英语)

新井信之 教授(大学教養・共通専門)

磯部 靖 准教授(大学中国語)

鄭 惠先 准教授(大学日本語)

サイモン・ウイルクンズ 講師(大学英语)

ミゲル・アヤラ 講師(大学スペイン語)

高田勝年(守衛)

(大学スペイン語)

新任

(2009年4月1日付)



栗屋 曠 理事長

教員



ビセンテ・アヤ 講師(大学スペイン語)



梁 正善 講師(大学韓国語)



木下希美 特任講師(大学日本語)

事務職員

松倉真由美

(国際交流センター事務室) 朝長英捷(守衛)